

# だいきく通信 第十九号 「秋の号」

いあつわつ

日頃より当社での神明奉仕にご協力を賜り、ありがとうございます。社報「だいきく通信」第十九号をお届けします。

このところ、御嶽山の噴火、二度にわたる強力な台風の上陸と、自然の猛威をみせつけられることが重なりました。被害に遭われたみなさまに心よりお見舞い申し上げます。このような出来事にふれるにつけ、人間の力の弱さ・小ささを痛感いたします。常に謙虚な心を忘れず、自分たちをはるかに超えた力の存在を改めてきちんととらえていかなければならないと思っただ次第です。

さて、今回の内容は催し物のご案内、神社にまつわる豆知識をお伝えする「お宮あれこれ」、そして、オリジナル・キャラクターが活躍する新連載などです。催し物・キャラクターなどを通じて、崇敬者の皆様、地域の皆様に、少しでも当神社を身近に感じていただけるよう、努力してまいりたく存じます。

今後ともご指導ご鞭撻のほど、なにとぞよろしくお願い申し上げます。

大國神社 宮司 大島資生

## 大國神社の今

「第一回だいきくライブ」を開催します！」

新たな催し物のシリーズ、「だいきくライブ」が始まります。第一回目は「琵琶デュオ」のお二人をお迎えしての開催です。長い伝統をもつ琵琶の魅力を大切に守りつつ、新たな風を巻き起こしている琵琶デュオ。熱いライブに期待が高まります。

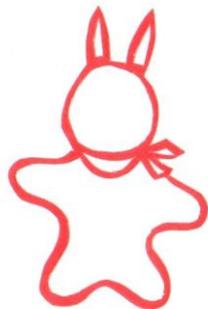
第一回だいきくライブ「琵琶デュオ・ライブ」

日時 十月二十五日（土）午後二時開演（午後一時半開場）

会場 大國神社拝殿

入場料 一五〇〇円（定員三十名・要予約）

ご予約 〇八〇（一九八七）八七一六





琵琶デュオのご紹介

中世から続く四弦四柱の薩摩琵琶の後藤幸浩と昭和の改良五弦五柱琵琶を操る琵琶水島結子によるベテラン×若手女子の世にも珍しい琵琶デュオ。琵琶の「ビヨーン」という独特の「さわり」と呼ばれる倍音成分をこよなく愛し、魂削る。古典は勿論、超絶テクニクで激しい弾法に声を乗せ、歌い、語る。日本の他の芸能も取り入れた異色・異端な現代の琵琶法師。二〇一三年、三枚のCD「琵琶デュオ」「太田道灌」「後藤弦城ソロリサイトル（ライブ録音）」をリリース。

お宮あれこれ〜初宮参りと七五三〜



日本では人生のさまざまな節目に神社にお参りをする習慣があります。今回はそのうち、初宮参りと七五三についてお話しいたしましょう。

初宮参りは「初宮詣で」、あるいは「お宮参り」ともいい、子どもがこの世に生れ出たことに感謝し、今後の健やかな成長を祈るものです。もともと男子は生後三十一日、女子は三十三日目ごろにお参りをしていましたが、地域によっては生後七日目、

百日を過ぎてからおこなうところもあるそうです。ちなみに、安産祈願のために神社にお参りをする場合もあります。岩田帯と呼ばれる帯をしめる習慣です。古くから懐妊五ヶ月目の戌の日を選んで行ないます。これは、犬が安産であることによるとされています。





次に、七五三は、三歳・五歳・七歳のお祝いで、子どもの健やかな成長を祈願するものです。古来、一・三・五・七・九という奇数は「陽数」と呼ばれ、めでたい数と考えられていました。その真ん中の三つをとったのが「七五三」です。一般に男子は三歳・五歳、女子は三歳・七歳とされます。現在は満年齢でおこなうのが一般的です。この習慣の起源は平安時代にさかのぼります。三歳になると男子女子ともそれまで剃っていた髪を伸ばし始める「髪置」、男子が五歳で初めて袴をつける「袴着」、そして女子が七歳で大人と同じ帯を使い始める「帯解」と

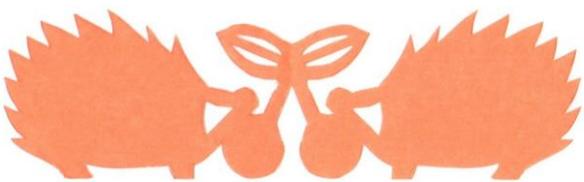
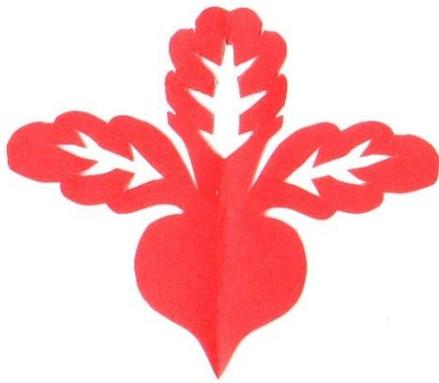


いう儀式です。本来十一月十五日におこなうものとされますが、この日取りは、徳川第五代將軍綱吉の子の髪置き祝いが行われたのにちなんでいとされます。

七五三には「千歳飴」を食べる習慣があります。子どもの長寿を願って細く長い形をしており、縁起のいい紅白の色をつけてあります。飴を入れる袋には松竹梅、鶴亀、高砂の尉と姥など縁起物が描かれています。江戸時代の元禄・宝永の頃、浅草の飴売りが売り出したのが千歳飴の始まりだそうです。

十一月になりますと、あちこちで晴れ着姿のお子さんをみかけるようになります。すました顔の女の子、慣れない着物でくたびれてしまった男の子、なんとも微笑ましい風物詩です。

「文中の写真は横長二枚が『儀式風俗図絵』(巖如春 昭和初期)より「髪置」「袴着」、縦長が「風俗東之錦 帯解」(鳥居清長 七八五(天明五年))」



## 祭礼・祈祷などの案内

○次回甲子祭

平成二十六年十二月十九日(金) ご祈祷時間 午前五時～正午

○開運千人講祈祷祭 毎月一日 午前六時～正午まで

○お祓いのお申し込み・お問い合わせなどは下記の電話番号にお願いいたします。不在の場合は、恐れ入りますが、留守番電話のメッセージのあとで、お名前・お電話番号・ご用件をお話しく下さい。のちほどこちらからご連絡いたします。

○諸祈祷受付 商売繁盛祈願、心願成就祈願、厄除け、お宮参りなど、随時祈祷を行っております。祈祷日時については、お電話にてご相談ください。

(新連載!)

# 大吉うさぎ

## ～神社豆知識①～

くま こまち 作



〈お問い合わせ・お申し込み〉

○三三三九一八一七九三〇(携帯) ○八〇一八九七八七二六

eメール daikokujinja@gmail.com

## 次号発行予定

「だいきく通信第十九号」、いかがでしたか。次号「冬の号」は、平成二十六年十二月十九日の甲子祭に発行予定です。

「だいきく通信」第十九号 平成二十六年十月二十日発行

編集・発行 大國神社社務所

〒一七〇—〇〇〇三 東京都豊島区駒込三二—一十一

<http://www.daikokujinja.org>